

万博記念公園とアサヒビール見学

(第 61 回くらわん会 2001/07/03)

7月3日午前10時モノレール万博記念公園駅に参集した111名は公園中央入り口から散策、色彩もとりにどりに咲くあじさい園に目を見張る。

広大な芝生広場の中でサルビアの群落の紅色が燃えていた。

緑の深い森林には足を踏み入れず森の空中観察路「ソラード」を上がる。かなり高い木々の梢を目線にして森を見下ろして進むウォークは爽快で、木登りタワーからは園内の自然文化園が一望出来た。

ソラードを降りてしばしの散策後、三々五々に分かれての昼食、終るとアサヒビール吹田工場へと向かう。

吹田工場は創業1891年(明治24年)敷地面積約44,000坪、年間生産量大瓶換算で約6億本と聞く。工場では原材料の仕込み工程から発酵、貯酒濾過、瓶詰、缶詰までの工程を実施見学し、映写室ではスーパードライの出来るまでと出荷に至るまでを観覧する。

臨場感あふれるビールの生産過程を映写に見て喉ごしに郷愁を覚える。大広間ではようやく待望の試飲となって全員はえびす顔でグラスを傾け、黒ビール混入の-half and halfが美味だとかやがや言い合ったことであった。

次回、再開を楽しみにして解散した。

清水次雄記

休日なれば混むであろうと思われる、エキスポランドを右に見て歩く



公園駅から歩き出すとモノレールの向こうに万博公園太陽の塔が見える



広大な芝生広場の中でサルビアの群落の紅色が燃えていた



樹木の梢を目線にしてソラードを行く



緑の深い森林には足を踏み入れず森の上のソラードに上がる





ソラードの上から木の下を流れる清流を見る



公園内の木陰で心地よい風を受けながら、一休み



池に泳ぐ二羽の白鳥は涼しそうだ



万博当時に植樹された木々も大きく成長した路を行く



アサヒビール吹田工場に辿り着いて休息の美女五人



アサヒビール吹田工場では原材料の仕込み工程から発酵、貯酒濾過、瓶詰、缶詰までの工程を見学

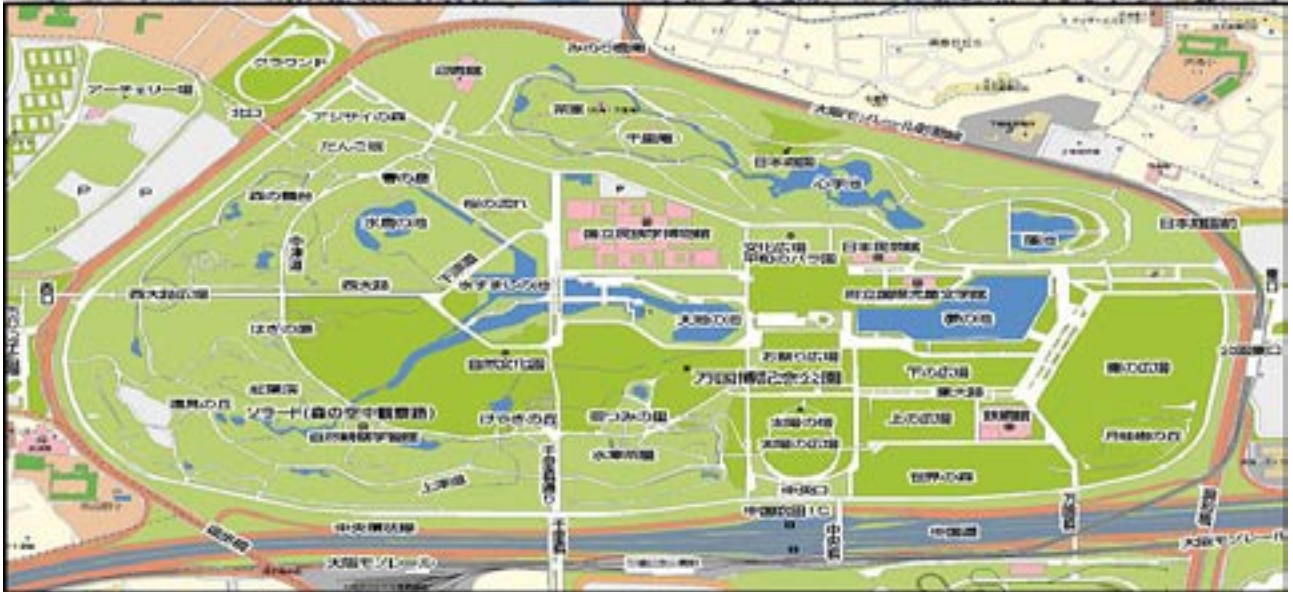


大広間ではようやく待望の試飲となつて全員はえびす顔でグラスを傾けた



試飲のビアホールでは渴いた喉を潤すのに足りずお代わりも出る

万博記念公園とアサヒビール見学



＜行程＞

万博記念公園駅⇒公園内散策⇒ソラード（樹上散策橋）⇒阪急山田駅⇒阪急吹田駅⇒アサヒビール工場見学⇒JR吹田駅 7km 2001年7月3日 111名参加